



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長

(氏名) 後藤 英紀

TEL 03-6682-5700

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,547	△14.9	△289	—	△300	—	△182	—
25年3月期第2四半期	4,166	55.4	168	△70.1	166	△70.4	93	△83.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△1,329.10	—
25年3月期第2四半期	686.48	680.06

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	4,835	2,099	41.8	14,738.34
25年3月期	4,543	2,263	48.3	16,026.25

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,020百万円 25年3月期 2,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△11.7	△300	—	△300	—	△200	—	△1,459.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成25年10月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	137,100 株	25年3月期	136,975 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	137,044 株	25年3月期2Q	135,588 株

(注)1. みずほ信託銀行株式会社(以下「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式2,332株(議決権の数2,332個)につきましては、上記期末自己株式数に含めておりません。

2. 期中平均株式数には、ESOP信託口が所有する当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国の経済は、円高修正と株価上昇による景況感の改善を背景に、景気回復の兆しが見え始める状況が続いております。ただ、欧州経済の停滞や新興国経済の下振れ懸念もあり、依然として先行きに予断を許さない状況は続いております。

インターネットビジネスを取り巻く環境は、引き続き著しいスピードで変化をしています。なかでも、スマートフォンの普及の影響は大きく、当社の主力事業であるソーシャルゲーム市場において、市場と機会の双方が拡大しております。平成25年度情報通信白書によると、平成27年度の国内向けスマートフォン出荷台数は3,700万台に至り、携帯電話の総出荷台数3,950万台の9割を上回ると予測されています。スマートフォンの普及は引き続き加速しつづけます。

このような環境の中、当社は、引き続きスマートフォン向けに注力しております。ソーシャルゲーム事業では、新ゲームをリリースしたほか、今下期以降のリリースに向けた開発を進めました。ソーシャルラーニング事業では第1四半期にiOS向けアプリをリリースし、その運用とともに、AndroidOS対応に向けた開発を行っております。アドソリューション事業においてはスマートフォン向けサービスを開始しました。しかしながら、ソーシャルラーニング事業、アドソリューション事業は事業開発段階にあり、収益の主力となるソーシャルゲーム事業で、市場環境の変化とリリースからの経年とが相俟って既存ゲームに軟調な推移が続き、また新ゲームでユーザーから十分な支持を得るに至らず、当初の計画を下回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,547,212千円(前年同期比14.9%減)となりました。利益面につきましては、営業損失289,954千円(前年同期は営業利益168,816千円)、経常損失300,094千円(前年同期は経常利益166,595千円)、四半期純損失182,145千円(前年同期は四半期純利益93,078千円)となりました。

セグメント実績は、以下の通りであります。

①エンタメウェブ

エンタメウェブでは、主力のソーシャルゲームサービス事業において、新ゲーム「ファンタジスタドール ガールズロワイヤル」を平成25年9月にリリースしました。当ゲームは7月にTVアニメ放映が始まった「ファンタジスタドール」を題材としたもので、当社にとって、アニメ制作段階から関与を持つ初めてのケースとなりました。期初の計画に比べ、リリースを1ヶ月程度遅らせたことに加え、リリース前後で各種プロモーションを行ったものの、ユーザー獲得が計画未達となり、収益寄与は計画を下回っております。既存ゲームにおいて、スマートフォン向け開発へのリソース投下に注力するため、ゲーム各々に優先順位をつけ、一部ゲームでは人員を新規開発に振り向けました。結果として、5月にリリースした「神縛のレインオブドラゴン」の寄与と「ちよこっとファーム」が堅調な推移となったものの、他はリリースからの経年とスマートフォンへの移行が進む環境変化に抗うほどの新イベントの提供などが行えず、総じては軟調な推移となりました。

中期的な観点で事業開発を進めているソーシャルラーニング事業においては、第1四半期にリリースした英語学習アプリ「えいぼんたん」iOS版の運用に注力しております。既存アプリを含む累計ユーザー数は150万人を超え、累計の問題回答数も10億題を超えるに至っております。また、下期のリリースに向け、「えいぼんたん」のAndroid版の開発も進めております。同事業はソーシャルゲームの手法も取り入れ売上高を伸ばしておりますが、事業開発段階にあり業績への影響は軽微にとどまっております。

以上のことからセグメントでの売上高は3,319,124千円(前年同期比11.9%減)、セグメント損失は157,683千円(前年同期はセグメント利益269,084千円)となりました。

②マーケティングソリューション

マーケティングソリューションでは、アドソリューション事業において、動画を利用したリワード広告の導入促進に加え、スマートフォン向けコンテンツ事業者を広告主とする広告サービスを開始しました。ただ、前事業年度下期からユーザー数が減少していた一部媒体の取扱を止めた影響が大きく、売上が減少しました。

以上のことからセグメントでの売上高は234,406千円(前年同期比44.6%減)、セグメント損失は132,270千円(前年同期比31.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は3,774,446千円となり、前事業年度末に比べ65,982千円増加いたしました。これは主に売掛金が341,969千円減少したものの、現金及び預金が257,661千円、繰延税金資産が107,144千円増加したことによるものであります。固定資産は1,061,076千円となり、前事業年度末に比べ226,059千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が194,836千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,835,522千円となり、前事業年度末に比べ292,042千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,054,148千円となり、前事業年度末に比べ218,855千円増加いたしました。これは主に未払金が90,721千円、未払法人税等が89,952千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が149,890千円、1年内償還予定の社債が250,000千円増加したことによるものであります。固定負債は681,957千円となり、前事業年度末に比べ237,191千円増加いたしました。これは主に社債が250,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,736,106千円となり、前事業年度末に比べ456,047千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,099,416千円となり、前事業年度末に比べ164,004千円減少いたしました。これは主に四半期純損失182,145千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は41.8%(前事業年度末は48.3%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、第1四半期よりスマートフォン向けへの注力を進め、当第2四半期も引き続きスマートフォンへの対応に傾注いたしました。9月には、スマートフォン向け新作ゲームとして「ファンタジスタドールガールズロワイヤル(ガルロワ)」をリリースいたしました。

前回予想におきましては、新作ゲームガルロワに対して、順調なユーザー獲得と下期以降の業績への寄与を見込んでおりました。しかしながら、現段階までの進捗では、ユーザー獲得が計画に達していません。海外向けゲームにおきましても、スマートフォンOSのバージョンアップ対応で一部不具合が発生し、ユーザーの剥離が生じました。足下のユーザー数減少は、これらゲームから得られる今後の売上にマイナスの影響を及ぼす見込みです。

また、第3四半期以降にリリースを予定していた3本のスマートフォン向けゲームについて、開発工程の複雑化への対応等から開発期間の見直しを行い、リリース時期の後ろ倒しをいたしました。その結果、これらゲームの下期における業績寄与は、前回予想よりも縮小する見通しとなりました。

詳細につきましては、本日(平成25年10月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,129,042	2,386,704
売掛金	1,482,279	1,140,310
前払費用	42,569	66,603
繰延税金資産	32,971	140,115
その他	23,902	40,912
貸倒引当金	△2,302	△200
流動資産合計	3,708,463	3,774,446
固定資産		
有形固定資産		
建物	161,584	161,584
減価償却累計額	△28,583	△40,218
建物(純額)	133,000	121,365
工具、器具及び備品	53,168	55,306
減価償却累計額	△38,187	△41,945
工具、器具及び備品(純額)	14,980	13,360
有形固定資産合計	147,981	134,726
無形固定資産		
ソフトウェア	270,065	359,267
ソフトウェア仮勘定	56,812	162,541
その他	897	802
無形固定資産合計	327,775	522,611
投資その他の資産		
敷金	146,040	146,040
繰延税金資産	213,169	230,410
その他	50	27,287
投資その他の資産合計	359,260	403,738
固定資産合計	835,016	1,061,076
資産合計	4,543,480	4,835,522

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	198,924	175,296
短期借入金	84,500	131,000
1年内返済予定の長期借入金	363,316	513,206
1年内償還予定の社債	—	250,000
未払金	1,007,463	916,741
未払法人税等	93,768	3,815
賞与引当金	24,080	17,145
その他	63,242	46,944
流動負債合計	1,835,293	2,054,148
固定負債		
社債	—	250,000
長期借入金	323,375	332,384
資産除去債務	34,455	34,710
その他	86,935	64,862
固定負債合計	444,765	681,957
負債合計	2,280,059	2,736,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,084,062	1,087,850
資本剰余金	1,325,041	1,328,830
利益剰余金	△63,940	△246,086
自己株式	△149,968	△149,968
株主資本合計	2,195,195	2,020,626
新株予約権	68,226	78,790
純資産合計	2,263,421	2,099,416
負債純資産合計	4,543,480	4,835,522

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,166,120	3,547,212
売上原価	2,647,462	2,681,088
売上総利益	1,518,657	866,123
販売費及び一般管理費	1,349,841	1,156,077
営業利益又は営業損失(△)	168,816	△289,954
営業外収益		
受取利息	500	203
業務受託料	3,000	199
その他	272	412
営業外収益合計	3,772	815
営業外費用		
支払利息	5,908	6,879
社債発行費	—	2,849
その他	84	1,226
営業外費用合計	5,993	10,955
経常利益又は経常損失(△)	166,595	△300,094
特別利益		
事業譲渡益	10,417	—
特別利益合計	10,417	—
特別損失		
固定資産除却損	160	—
解約違約金	—	6,000
特別損失合計	160	6,000
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	176,853	△306,094
法人税、住民税及び事業税	96,037	436
法人税等調整額	△12,262	△124,384
法人税等合計	83,774	△123,948
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93,078	△182,145

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	176,853	△306,094
減価償却費	148,809	139,799
株式報酬費用	19,526	13,307
事業譲渡損益(△は益)	△10,417	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,918	△2,102
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,593	△6,935
受取利息及び受取配当金	△500	△203
支払利息	5,908	6,879
売上債権の増減額(△は増加)	202,779	341,969
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,245	△23,627
未払金の増減額(△は減少)	△23,439	△91,987
未払費用の増減額(△は減少)	2,358	△21,339
未払消費税等の増減額(△は減少)	△83,068	—
その他	△1,687	△30,915
小計	436,551	18,750
利息の受取額	195	203
利息の支払額	△5,915	△9,802
法人税等の支払額	△334,636	△89,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,194	△80,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,932	△22,801
無形固定資産の取得による支出	△383,819	△319,243
出資金の払込による支出	—	△10,237
関係会社株式の取得による支出	△49,500	△17,000
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△84,100	△100
敷金の回収による収入	56,673	—
事業譲渡による収入	127,833	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△355,845	△369,382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	18,000	46,500
長期借入れによる収入	300,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△56,658	△191,101
社債の発行による収入	—	497,007
株式の発行による収入	1,149	4,833
自己株式の取得による支出	△25,555	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	236,936	707,240
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,714	257,661
現金及び現金同等物の期首残高	1,911,296	2,129,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,888,581	2,386,704

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	エンタメウェブ	マーケティング ソリューション	計		
売上高					
(1)外部顧客への 売上高	3,765,836	400,283	4,166,120	—	4,166,120
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	22,841	22,841	△22,841	—
計	3,765,836	423,124	4,188,961	△22,841	4,166,120
セグメント利益又は損 失(△)	269,084	△100,267	168,816	—	168,816

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	エンタメウェブ	マーケティング ソリューション	計		
売上高					
(1)外部顧客への 売上高	3,319,124	228,087	3,547,212	—	3,547,212
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	6,319	6,319	△6,319	—
計	3,319,124	234,406	3,553,531	△6,319	3,547,212
セグメント損失(△)	△157,683	△132,270	△289,954	—	△289,954

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。